

「各本部」
古島北方沖約50キロを震源と
本番では、住民の避難訓

篠塚さんに世界最速認定証

ソーラーカー

宮古島ではギネス初認定

パリ・ダカールラリーで日本人初の総合優勝（1997年）を成し遂げた、篠塚建次郎さんが代表兼ドライバーを務める「チームSHINOZUKA」が22日、下地島空港でギネスのソーラーカー世界最速記録を更新し、ギネスの認定を受けた。20日に記録した91・333キロには及ばなかったも

の、これまでのギネス記録、時速88・738を0・153キロ上回る、時速88・891キロの記録を出した。宮古島でのギネス世界記録認定は今回が初めて。



ソーラーカー世界最速のギネス認定証をウカソヴァさん（手前右）から授与された篠塚さん（同左）＝22日、下地島空港

この日、ギネス世界記録日本の公式認定員グリナズ・ウカソヴァさんの立ち会いの下、午前11時30分すぎから1時間の走行で記録を更新。ギネス世界記録日本から認定証が授与された。

「太陽が味方、協力に感謝」

宮古島初ギネスの篠塚さん

篠塚建次郎さんが代表兼ドライバーを務める「チームSHINOZUKA」が22日、下地島空港でソーラーカー世界最速のギネス認定を受けた。宮古島市でのギネス認定は今回が初めて。



宮古島で初めての世界記録ギネス認定証

ギネス認定書には「篠塚建次郎が運転する、芦屋大製作のスカイエースTIGAが、宮古島の下地島空港でソーラーカー世界最速を達成した。2014年8月22日」と、達成した地名が記されている。

下地敏彦市長は「ギネスに載ると世界中の人が見る。ソーラーカーで最速を記録した。ギネスを見た人が、宮古島に興味を持って調べてもらえば、エコア일랜드で、最先端の島というのも分かってもらえる。相乗効果があり、とても良いと思う」と、篠塚さんの宮古島でのギネス初認定の快挙を喜んだ。

この日授与された認定証には、記録の数値は記されていない。数値入りの認定証は後日、達成した関係者にギネスから送付される。

8/23(土) 宮古毎日新聞 (11面)

紫色の小花を咲かせ始めて

3月10日(土)